

24年度上半期(4月～9月) 市の財政状況

市では、市民の皆さんに市の財政状況を知っていただくため、年2回、財政状況を公表しています。
 今回は、24年度上半期(24年4月～9月)の予算の収入・支出の状況、財産の状況などについてお知らせします。
 詳しくは財政課 ☎ 470・7706へ。

今年度上半期は、第1回市議会定例会において下水道事業特別会計以外の特別会計が成立し、第2回市議会定例会において下水道事業特別会計が成立しましたが、一般会計については第3回市議会定例会において否決となったため、現在9カ月間(4月～12月)の暫定予算により執行しています。

一般会計の9月末現在の歳入執行額は、市税の減少などにより、昨年度同時期より6億9877万1000円減少しています。一方、歳出執行額は、社会保障関係経費の増加による民生費の増加などに

引き続き、計画的かつ効率的な予算管理に努めていきます。 ※表中の金額は、1000円未満を四捨五入しています。そのため、内訳と合計が一致しない場合があります。

一般会計歳入・歳出予算執行の状況

歳入	24年9月末			23年9月末	
	予算現額	収入済額	収入率	収入済額	収入率
市税	122億627万9千円	76億3,302万8千円	62.53%	78億3,064万5千円	48.45%
地方消費税交付金	8億1,180万円	5億9,371万3千円	73.14%	5億9,646万5千円	58.08%
地方交付税	31億3,790万2千円	22億7,097万6千円	72.37%	21億9,830万5千円	72.12%
国庫支出金	39億8,764万6千円	28億554万3千円	70.36%	30億761万円	50.48%
都支出金	19億8,720万4千円	13億7,706万1千円	69.30%	13億2,442万円	20.26%
繰入金	3,927万8千円	0円	0.00%	0円	0.00%
繰越金	7億9,461万4千円	7億9,461万5千円	100.00%	11億1,255万3千円	100.00%
市債	1億4,940万円	0円	0.00%	0円	0.00%
その他	10億8,599万円	7億970万円	65.35%	8億1,340万9千円	45.85%
歳入合計	242億11万3千円	161億8,463万6千円	66.88%	168億8,340万7千円	42.48%

※予算現額は、暫定予算における9月末日の額です。

歳出	24年9月末			23年9月末	
	予算現額	支出済額	執行率	支出済額	執行率
総務費	30億4,344万8千円	13億5,239万5千円	44.44%	13億6,908万4千円	33.82%
民生費	157億9,443万3千円	78億5,146万7千円	49.71%	76億3,633万円	42.04%
衛生費	26億9,928万1千円	13億8,218万円	51.21%	14億884万4千円	42.59%
土木費	33億9,996万6千円	15億8,011万7千円	46.47%	14億518万5千円	30.24%
教育費	41億8,367万1千円	14億4,885万8千円	34.63%	14億2,056万4千円	34.24%
公債費	15億2,984万6千円	14億5,869万2千円	95.35%	15億9,398万1千円	51.64%
その他	17億7,846万1千円	10億3,839万円	58.39%	10億6,891万円	45.61%
歳出合計	324億2,910万6千円	161億1,209万9千円	49.68%	159億289万8千円	40.01%

※予算現額は、暫定予算における9月末日の額です。

特別会計歳入・歳出予算執行の状況

区分	24年9月末			23年9月末	
	予算現額	執行額 (上段:収入済額) (下段:支出済額)	執行率	執行額 (上段:収入済額) (下段:支出済額)	執行率
国民健康保険特別会計	128億8,586万円	55億1,429万9千円	42.79%	51億6,111万6千円	41.03%
		53億4,320万2千円	41.47%	49億2,825万5千円	39.18%
後期高齢者医療特別会計	22億1,386万6千円	8億2,526万2千円	37.28%	7億4,914万2千円	37.54%
		7億3,704万7千円	33.29%	6億6,672万9千円	33.41%
介護保険特別会計	65億7,646万8千円	24億7,792万3千円	37.68%	23億1,651万7千円	37.05%
		26億9,682万3千円	41.01%	24億7,160万6千円	39.53%
下水道事業特別会計	32億4,631万4千円	12億263万3千円	37.05%	11億4,009万円	33.47%
		8億9,455万3千円	27.56%	9億8,104万3千円	28.80%

市有財産の状況(現在高)

市有財産は、市が所有する不動産や動産などです。

区分	24年9月末	23年9月末
土地(公園や施設の敷地など)	57万2,265.67㎡	56万7,726.45㎡
建物(学校や図書館など)	20万1,921.88㎡	20万2,410.12㎡
工作物(防火貯水槽など)	141カ所	140カ所
物権(地上権)	5,547.53㎡	5,547.53㎡
出資による権利(出資金や出金)	2,266万3千円	2,266万3千円
物品(自動車や地域防災無線など)	685点	698点
債権(施設借上敷金など)	789万2千円	2,048万8千円

市民負担等の状況(人口1人当たり)

区分	24年9月末	23年9月末
歳入(収入済額)	14万円	14万8千円
うち市税収入済額	6万6千円	6万8千円
歳出(支出済額)	13万9千円	13万9千円
市債残高	34万1千円	35万7千円

※24年9月30日現在の人口:11万5,822人(外国人住民を含む)
 ※23年9月30日現在の人口:11万4,413人

市債の状況(残高)

市債は、道路、公園、小・中学校、下水道などの公共施設の整備のために、国や都などから借り入れて調達した資金です。

区分	24年9月末	23年9月末
一般会計	245億6,001万7千円	246億9,231万1千円
国民健康保険特別会計	1億円	1億5,000万円
下水道事業特別会計	148億636万7千円	160億2,073万円
合計	394億6,638万4千円	408億6,304万1千円

下水道使用料改定(案)と世帯別使用料の例(1カ月当り)

※消費税は含んでいません。

項目	使用量	現行	改正(案)	使用料改定(案)による下水道使用料算定例		
				10㎡使用した場合	20㎡使用した場合 (2人世帯・3人世帯)	30㎡使用した場合 (3人世帯・4人世帯)
使用量区分	0～10㎡	630円	690円	690円	(10㎡) 690円 (10㎡×125円) 1,250円 ↓ (20㎡) 1,940円	(10㎡) 690円 (10㎡×125円) 1,250円 (10㎡×162円) 1,620円 ↓ (30㎡) 3,560円
	11～20㎡	119円	125円			
	21～50㎡	156円	162円			
	51～100㎡	204円	210円			
	101～200㎡	235円	241円			
	201～500㎡	284円	290円			
	501～1,000㎡	318円	324円			
	1,000㎡～	357円	363円			
使用料改定(案)による合計				690円	1,940円	3,560円
現行使用料による合計				630円	1,820円	3,380円
値上げ額				60円	120円	180円

市は、安全で安心な暮らしを支えている下水道管などの施設を、これからも維持していくために、下水道使用料を改定する条例案を市議会に提案します。

下水道使用料の改定(案)は、学識経験者や市民による委員で構成された「下水道使用料等検討委員会」の報告書に基づき、議会の意見も勘案し検討したものです。

市は下水道事業の健全な運営に向け、これら下水道施設を常時良好な状態で維持し、さらなる業務の改善や経費の削減に取り組む、より効率的な下水道経営に向けた施策を進めていきます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

「使用料改定(案)の内容及び使用料の改定率は4・8%です。現在、生活扶助者などに行っている使用料の全額免除を「10立方メートル以下の使用料を免除」にします。▼使用料の算定例は左表の通りです

詳しくは施設管理課下水道計画係 ☎ 470・7758へ。

下水道使用料の改定条例(案)を市議会に提案します

製造事業所の皆さんへ

工業統計調査にご協力をお願いします

この調査は、国が統計法に基づき毎年実施する重要な統計調査で、24年12月31日を基準日として行います。

この調査では、製造業を営む事業所を対象に、1年間の生産活動に伴う製造品の出荷額や原材料使用額などを調査し、その結果は中小企業施策や地域振興など、国および地域行政施策のための基礎資料として活用されます。

調査の実施に当たっては、25年1月8日頃から、調査員が調査票記入のお願いに伺います。

提出された調査票の記入内容は、統計法によって厳重に保護され、統計を作成・分析する目的以外に使用することはありません。皆さんのご協力をお願いします。

詳しくは企画経営室総務課統計調査担当 ☎ 470・7714へ。